

第866回宮城県教育委員会定例会日程

日 時：平成27年5月13日（水）午後2時

場 所：県行政庁舎16階 教育委員会会議室

1 出 席 点 呼

2 開 会 宣 言

3 第865回教育委員会会議録の承認について

4 第866回教育委員会会議録署名委員の指名

5 議 事

第1号議案 障害児就学指導審議会委員及び専門委員の人事について (特別支援教育室)

第2号議案 宮城県特別支援教育将来構想審議会委員の人事について (特別支援教育室)

6 課長報告等

(1) 平成28年度宮城県・仙台市公立学校教員採用候補者選考について (教 職 員 課)

(2) (仮称)宮城県立支援学校女川高等学園について (特別支援教育室)

7 資料（配付のみ）

(1) 教育庁関連情報一覧について (総 務 課)

8 次回教育委員会の開催日程について

9 閉 会 宣 言

平成２８年度宮城県・仙台市公立学校教員採用候補者選考について

1 出願期間

- (1) 出願期間 平成２７年４月２２日（水） 午後１時から
平成２７年５月１９日（火） 午後５時まで
- (2) 出願方法 原則として電子申請（書面による申請も可）
アクセス先 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ky-teacher/>

2 選考期日等

- (1) 第１次選考実施日 平成２７年７月２５日（土）・２６日（日）
筆記試験会場：仙台三高，仙台二華中・高，仙台三桜高，県工業・第二工業高，
お茶の水女子大
実技試験会場：仙台市立荒町小，長町南小，旭丘小，富沢小，仙台二高
- (2) 第１次選考結果発表 平成２７年８月２８日（金）
- (3) 第２次選考実施日 平成２７年９月１１日（金）・１２日（土）
または ９月１３日（日）・１４日（月）のいずれか
- (4) 第２次選考結果発表 平成２７年１０月２８日（水）

3 採用予定者数

過去１０年間で最大となった昨年度と同規模の５６０名程度

(内訳 小学校３００名，中学校１８０名，高等学校７０名，養護教諭１５名，栄養教諭若干名)

- 【参考】 ・平成２７年度採用予定者数 ６００名程度
・平成２６年度採用予定者数 ５５０名程度
・平成２５年度採用予定者数 ４８５名程度

4 選考の特徴（昨年から引き続くものを含む）

① 特別支援教育の充実・推進に向けて，特別支援教育の内容を問う出題を増

特別支援教育の充実・推進に向けて，教職教養で特別支援教育の内容を問う出題を増やします。

また，特別支援教育に携わりたいという意欲のある人材を新規採用段階から積極的に配置するために，昨年度までと同様に，特別支援学校を第一希望とする場合，採用願書に希望を記載できるようにしています。

② 大学院修士課程進学者・在学者の名簿登載猶予の実施（継続）

優れた資質を持つ教員の確保のため，大学院修士課程進学者及び在学者の採用名簿登載者で希望する者には，専修免許状の取得を条件に，大学院修了まで名簿登載猶予を実施します。

③ 障害者特別選考の実施（継続）

障害のある方で教員を目指す人のために，昨年度までと同様に障害者特別選考を実施します。

④ 東京会場における第一次選考の実施（継続）

中学校《国語，社会，数学，理科，技術》，中・高《家庭》，高等学校《国語，公民，地理歴史，数学，理科（物理，化学，生物，地学），農業，水産，工業（機械，電気・電子，建築，工業化学），商業，看護，福祉》，養護教諭，栄養教諭Ｂの，２５の校種・教科で実施します。会場はお茶の水女子大学です。

（仮称）宮城県立支援学校女川高等学園について

1 学校の名称

- (1) 名 称 (仮称) 宮城県立支援学校女川高等学園
 (2) 設 立 平成28年4月1日(予定)

2 学科と定員等

- (1) 学 科 産業技術科
 3コース(食品製造コース, 福祉コース, サービスコース)
 (2) 対 象 軽い知的障害を有する生徒
 (3) 定 員 各学年 男女24人(3学級)
 (4) 修業年限 3か年
 (5) 通学区域 県内全域
 (6) その他 全寮制(3年間)

3 基本理念(本校設立の趣旨)

一般就労を目指す県内の軽い知的障害のある生徒に対し, 専門教科の指導を中心として, 知識・技能・体力・持続力や継続力などの就労のために必要な能力を培うとともに, 寄宿舎生活をとおして, 一人で生活することができる能力を高め, 地域社会との関わりの中で人から必要とされ, 職業的に自立した生活をしていくことのできる生徒を育成する。

4 学校の特徴

(1) 即戦力となる人材の育成

軽い知的障害を有する生徒に対して, 1科(産業技術科)3コース(食品製造コース, 福祉コース, サービスコース)を設定し, デュアルシステム^{*1}を活用した職業教育を中心とする学習活動を行う。なお, 地域の特産品である水産物を利用した食品製造コースを設定するにあたり, 専門教科(食品製造)を開設するとともに, 地域と連携した職業教育を行う。

(2) 生活スキルの習得のための寄宿舎指導の推進

将来の生活に必要なスキルを身につけるために, 学校の教育活動と連携した生活指導を充実させるとともに, 地域との交流を生かした豊かな余暇活動等を支援する。

(3) 社会生活と就労定着に向けての円滑な移行支援

個別の移行支援計画の活用, 及び地元企業との連携によるデュアルシステムの構築等地域のサポートネットワークを生かした進路指導の充実を図る。寄宿舎において3年間の生活指導を丁寧に行うことを踏まえ, 県内外の社員寮のある会社への就職等職域開発の工夫を図るとともに, 関係機関等との連携により職業生活と日常生活の両面に渡るアフターケアに積極的に取り組む。

(4) 地域と連携した志教育

地域の環境整備や防災関連のボランティア活動等に積極的に参加し, 地域活性化への貢献を目指す中で得られる自己有用感や豊かな情操を育てる。

*1デュアルシステム

若年者向けの実践的な教育・職業能力開発の仕組みとして, 企業での実習と学校での講義等の教育を組合せて実施することにより, 若者を一人前の職業人に育てる仕組みのこと(文部科学省)

5 施設の概要等

(1) 位置

- ① 学校 宮城県牡鹿郡女川町浦宿浜字十二神60-3 (旧女川高校校舎敷地)
- ② 寄宿舎 同上

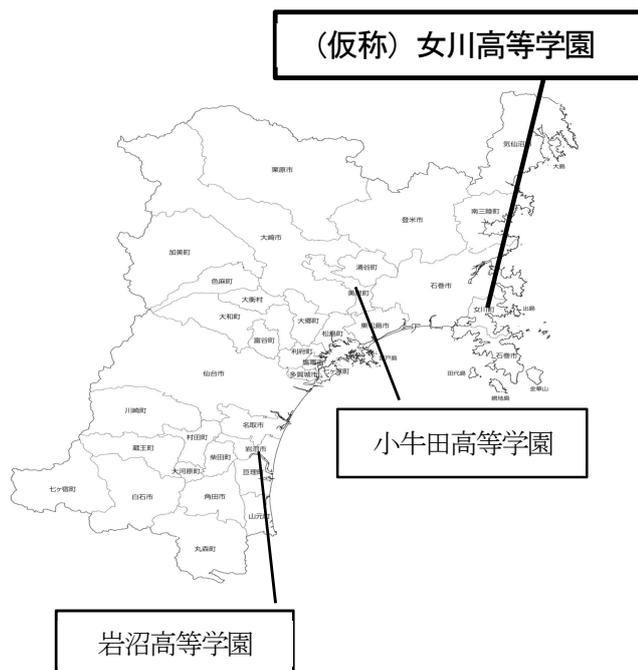
(2) 校舎等

- ① 教室棟 (新設) 鉄筋コンクリート構造3階 延べ面積 2,482㎡
- ② 寄宿舎棟 (新設) 鉄筋コンクリート構造3階 延べ面積 1,951㎡
- ③ 実習棟 (新設) 鉄筋コンクリート構造2階 延べ面積 1,396㎡
- ④ 生活訓練棟 (新設) 木造1階 約 100㎡
- ⑤ 屋内運動場 (改修) 鉄筋コンクリート構造2階 延べ面積 1,457㎡
(一部鉄骨造)
- ⑥ プール (新設) 25m×14m 6コース
- ⑦ プール付属棟 (新設) 鉄骨1階 137㎡
- ⑧ 第1グラウンド 150mのラウンドトラック
- ⑨ 第2グラウンド 活用については女川町と協議
- ⑩ 白亜館 (旧女川高校同窓会館) 木造2階 延べ面積 323㎡
(敷地内へ曳家) 女川高校メモリアルとして移設し (仮称) 女川高等学園においても活用

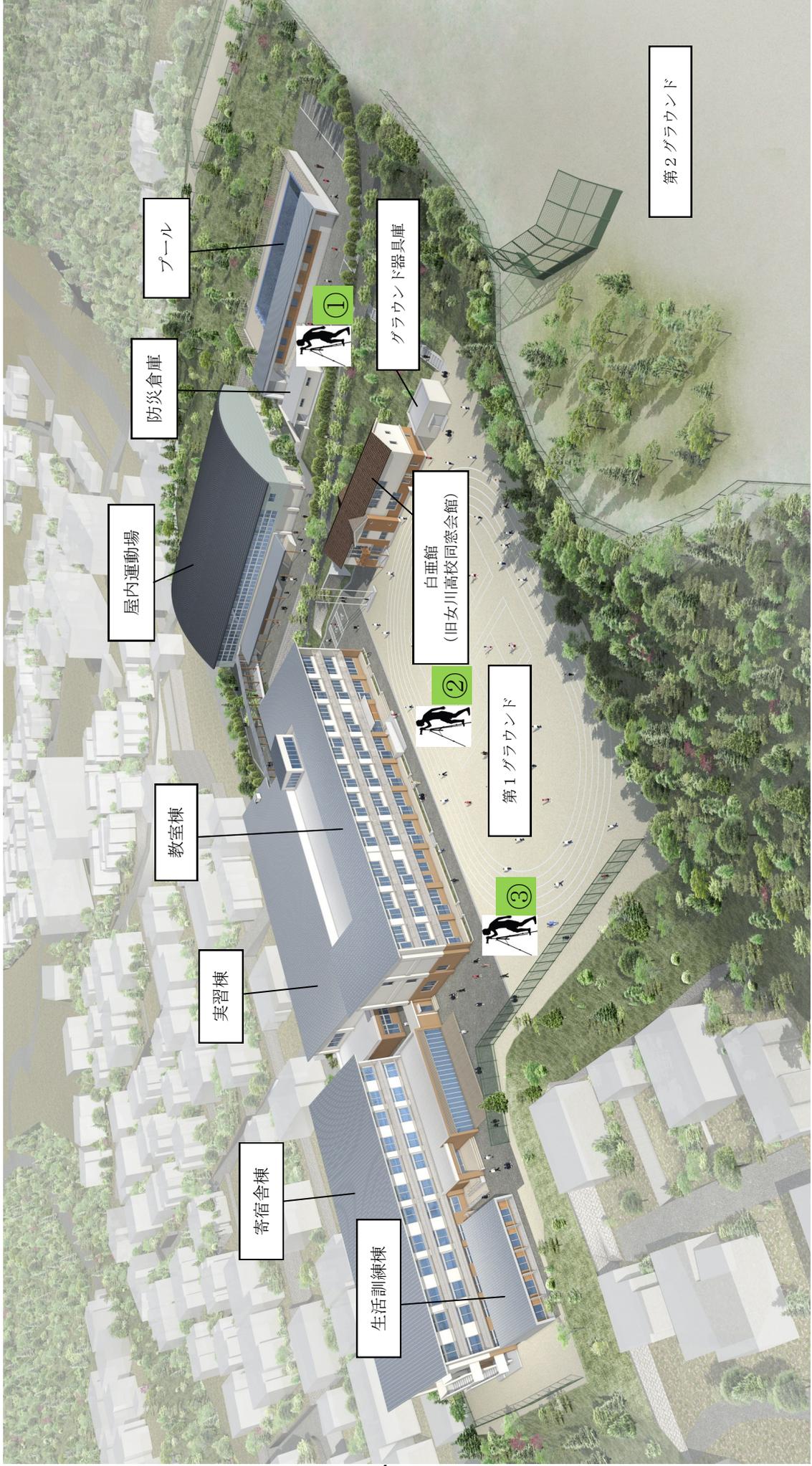
6 今後の予定

- (1) 学校説明会 5月～6月：公立小・中学校長対象,
7月：保護者等対象, 10月：中学校進路担当対象
- (2) 工期 平成26年11月7日～平成28年1月29日
- (3) 校舎引き渡し 平成28年2月下旬 (予定)

7 学校の位置図



外観イメージ図



現在の工事進捗状況



校舎・寄宿舍全景 (①より撮影)



教室棟 (②より撮影)



寄宿舍棟 (③より撮影)

教育庁関連情報一覧（平成27年3月14・18日，平成27年4月15日～平成27年5月12日）

NO.	概要
1	<p>○平成29年度全国高等学校総合体育大会（南東北インターハイ）の愛称等が決定</p> <p>平成29年度に南東北三県（山形県・宮城県・福島県）において開催される全国高等学校総合体育大会の大会愛称・スローガン・シンボルマーク・総合ポスター図案が決定し，3月18日に山形県庁において，最優秀賞受賞者表彰式及びスローガン揮毫者感謝状贈呈式を行った。</p> <p>宮城県からは，大会愛称部門で岩ヶ崎高等学校2年千葉穂乃香さんの作品が最優秀賞を受賞した。</p> <p>【大会概要】</p> <p>大会名 平成29年度全国高等学校総合体育大会 期日 平成29年7月28日～8月20日 開催地 山形県・宮城県・福島県</p> <p>◆愛称 『はばたけ世界へ 南東北総体 2017』 ◆シンボルマーク </p> <p>◆スローガン 『絆は絆を結ぶ僕の力』 ◆総合ポスター図案 </p> 

(担当：全国高校総体推進室)

NO.	概要								
2	<p>○多賀城高等学校が世界防災ジュニア会議で『グッド減災賞最優秀賞』を受賞</p> <p>仙台市を主会場に開かれた第3回国連防災世界会議パブリックフォーラム「世界防災ジュニア会議」において、多賀城高等学校生徒と教職員が参加し、「命を守る未来に伝える～宮城県多賀城高等学校における防災・減災教育の取組～」を発表し、「グッド減災賞最優秀賞（金賞）」を受賞しました。</p> <p>【概要】</p> <table border="0"> <tr> <td>会議名</td> <td>第3回国連防災世界会議パブリックフォーラム 世界防災ジュニア会議3. 14</td> </tr> <tr> <td>期日</td> <td>平成27年3月14日（土）</td> </tr> <tr> <td>開催地</td> <td>仙台市民会館</td> </tr> <tr> <td>結果</td> <td>グッド減災賞最優秀賞 応募件数31件、優秀賞受賞9団体から第1位選出。</td> </tr> </table> <p>(担当：高校教育課)</p> 	会議名	第3回国連防災世界会議パブリックフォーラム 世界防災ジュニア会議3. 14	期日	平成27年3月14日（土）	開催地	仙台市民会館	結果	グッド減災賞最優秀賞 応募件数31件、優秀賞受賞9団体から第1位選出。
会議名	第3回国連防災世界会議パブリックフォーラム 世界防災ジュニア会議3. 14								
期日	平成27年3月14日（土）								
開催地	仙台市民会館								
結果	グッド減災賞最優秀賞 応募件数31件、優秀賞受賞9団体から第1位選出。								
3	<p>○仙台城南高校空手道部が第34回全国高等学校空手道選抜大会で準優勝</p> <p>第34回全国高等学校空手道選抜大会に出場し、男子団体組手で準優勝した仙台城南高校空手道部の選手及び関係者が、その報告のため4月15日（水）に県を表敬訪問した。</p> <p>【概要】</p> <table border="0"> <tr> <td>大会名</td> <td>JOCジュニアオリンピックカップ 第34回全国高等学校空手道選抜大会</td> </tr> <tr> <td>期日</td> <td>平成27年3月25日（水）から3月27日（金）まで</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>東京体育館</td> </tr> <tr> <td>出場数</td> <td>各地区代表50校</td> </tr> </table> <p>(担当：スポーツ健康課)</p> 	大会名	JOCジュニアオリンピックカップ 第34回全国高等学校空手道選抜大会	期日	平成27年3月25日（水）から3月27日（金）まで	会場	東京体育館	出場数	各地区代表50校
大会名	JOCジュニアオリンピックカップ 第34回全国高等学校空手道選抜大会								
期日	平成27年3月25日（水）から3月27日（金）まで								
会場	東京体育館								
出場数	各地区代表50校								

概 要	
NO.	<p style="text-align: center;">○『みやぎ高校生春のマナーアップ・キャンペーン』を開催</p> <p>J R東日本と連携し、仙台市交通局、宮城交通等の協力のもと、高校生が駅や車内において乗車マナーの向上を図るためのキャンペーンを実施した。</p> <p>【概要】</p> <p>日 程 平成27年4月15日(水)～4月17日(金)</p> <p>場 所 ①オープニングセレモニー 4月15日(水) 7:30～7:40 JR仙台駅構内ステンドグラス前 ②呼びかけ運動(乗降客への呼びかけ(高校生によるJR仙台駅構内放送を含む)とティッシュの配布) 4月15日(水) JR仙台駅を含め仙台、県南地区のJR16駅 4月16日(木) JR仙台駅を含め仙台、県南地区のJR13駅 4月17日(金) JR宮城野原駅</p> <p style="text-align: right;">(担当：高校教育課)</p> 
4	
NO.	<p style="text-align: center;">○宮城野高等学校の生徒が『第78回河北美術展』で入賞</p> <p>第78回河北美術展で、宮城野高等学校の生徒2名が新人奨励賞及び東北放送賞を受賞した。</p> <p>【概要】</p> <p>日 程 平成27年4月23日(木)～5月5日(火)</p> <p>場 所 藤崎本館</p> <p>出品数 日本画、洋画及び彫刻の3部門で計927点(高校生以上が対象)</p> <p>入 賞 ①日本画部門 新人奨励賞 「moratorium」 阿部汐夏(3年) ②彫刻部門 東北放送賞 「礎」 伊藤麻乃(3年)</p> <p>※ 高校生が入賞するのは2年ぶり。</p> <p style="text-align: right;">(担当：高校教育課)</p>  
5	

○宮城県公立高校の生徒2名の研究作品が評価され、日本代表としてISEFへ派遣

科学に関する研究作品が評価され、5月10日～16日までアメリカで開催される ISEF (International Science and Engineering Fair: 国際学生科学技術フェア) に日本代表として派遣される宮城県公立高校の生徒2名と関係者が、4月28日(火)に県を表敬訪問した。

【概要】

派遣生徒 宮城県仙台第二高等学校化学部 遠藤意弘 (3年)

『砂山シミュレーション-揺れによる斜面崩壊-』 (JSEC2014「科学技術政策担当大臣賞」)

宮城県仙台第三高等学校化学部 門口尚広 (2年)

『銅箔の色調変化の研究』 (第58回日本学生科学賞「全日本科学教育振興委員会賞」)

※ISEFとは

毎年5月に行われる高校生を対象とした世界最大の科学コンテストで「科学のオリンピック」とも呼ばれる。日本では、日本学生科学賞 (JSSA) またはジャパン・サイエンス&エンジニアリング・チャレンジ (JSEC) で上位入選した中から選考され派遣されている。



(担当：高校教育課)